

# クロシロエリマキキツネザル

マダガスカル固有種です。

木の上にいることが多く、木から木へ移動します。朝と夕方に活発に活動します。なわばりを知らせたり、群れのなかまに連絡するため、大きな声を出すことがあります。



木の上を移動することが多いです。



朝はひなたぼっこで体をあたためます。

# レムール(キツネザル)を取り巻く現状

人間がマダガスカルに移り住んできたことで、農業や家畜の放牧などをするために、森林を切り開いたり、野焼きをしたりするようになりました。キツネザルを捕まえたり、牛やヤギなどの外来種を持ち込んだりしました。そのため、いまキツネザルは、絶滅の危機に瀕しています。環境の変化にうまく適応できず、すでに絶滅してしまったキツネザルもいます。

現地の人たちにも生活があります。自然破壊をしないですむように、観光資源を活用してエコツーリズムなどを行い、人間の生活と環境保護を、どちらもうまくいくようにしようとしています。ですが、まだまだ道半ばです。

キツネザルのかわいい仕草を見るとき、少しだけ、キツネザルたちの現状に思いを馳せてみてください。そして、私たちになにができるか、ぜひ一度考えてみてください。

